

## 【16】質問紙法について学ぼう

「質問紙法」とは…いわゆる「アンケート調査」と呼んでいる調査方法の正式な名称です。

特徴は、一度にたくさんの回答を集めることができ、数値的な分析ができるところにあります。

一方で、精度の高い回答結果を得るために注意するところもあります。注意点について考えましょう。

例. ある町で開催されたお祭りで、次のようなアンケート調査を行うこととしました。

### ○○町 夏祭り アンケート

この度は、○○町のお祭りにご参加いただき、ありがとうございました。

これからのお祭りの参考にしますので、アンケート回答にご協力をお願いします(所要時間はおよそ3分です)。

あなたの年齢に該当するチェックボックス(□)にチェック(レ印)をつけてください。

- 9歳以下 (わからないところは、ほごしゃのかたなどによんでもらいましょう)
- 10~12歳     13~15歳     16~18歳     19歳以上

【1】次の催し物について、満足度を教えてください(参加したものについてのみ、答えてください)。

#### 1-1 スーパーボールすくい

とても楽しかった · わりと楽しかった · あまり楽しくなかった · ぜんぜん楽しくなかった

#### 1-2 射的

とても楽しかった · わりと楽しかった · あまり楽しくなかった · ぜんぜん楽しくなかった

#### 1-3 くじ引き

とても楽しかった · わりと楽しかった · あまり楽しくなかった · ぜんぜん楽しくなかった

#### 1-4 ヨーヨー釣り

とても楽しかった · わりと楽しかった · あまり楽しくなかった · ぜんぜん楽しくなかった

【2】次の販売の中で、おいしかったものはどれですか。3つまで答えてください。

- |        |         |      |         |        |
|--------|---------|------|---------|--------|
| 焼きそば   | フランクフルト | かき氷  | お好み焼き   | ポップコーン |
| じゃがバター | わたあめ    | たこ焼き | ベビーカステラ | チョコバナナ |

【3】今年のお祭りについてお答えください。

#### 3-1 開催した時期はいかがでしたか

とても良かった わりと良かった どちらともいえない あまり良くなかった まったく良くなかった

#### 3-2 係の人の対応はいかがでしたか。

とても良かった わりと良かった どちらともいえない あまり良くなかった まったく良くなかった

#### 3-3 来年もお祭りに参加したいと思いましたか。

とても思った わりと思った どちらともいえない あまり思わなかった ほとんど思わなかった

【4】その他 感想や要望があれば、ご記入ください。

( )

このアンケートについて、もし次の(1)~(5)のような質問とした場合は改善が必要です。改善すべき点はどこでしょうか。  
また、このまま調査するとどのような問題が起きるかを考えてください。

(1) 「今年の販売では、かき氷の種類を4種類から6種類に増やしました。かき氷の満足度はいかがですか？」
(2) 「来年もお祭りに参加したい」の質問について、「あまり思わなかった」、「ほとんど思わなかった」と回答した人は、理由を記してください。
(3) 次の各項目について、満足度を答えてください。 1 スーパーボールすくい とても楽しかった わりと楽しかった あまり楽しくなかった ぜんぜん楽しくなかった 2 射的 とても楽しかった わりと楽しかった あまり楽しくなかった ぜんぜん楽しくなかった : 25 焼きそば とてもおいしかった わりとおいしかった あまりおいしくなかった ぜんぜんおいしくなかった 26 フランクフルト とてもおいしかった わりとおいしかった あまりおいしくなかった ぜんぜんおいしくなかった : 49 太鼓 とても上手だった わりと上手だった あまり上手ではなかった ぜんぜん上手ではなかった 50 盆踊り とても上手だった わりと上手だった あまり上手ではなかった ぜんぜん上手ではなかった 質問は以上です。
(4) 係の対応はいかがでしたか。 とても良かった 良かった 悪かった とても悪かった
(5) 花火の音はうるさくありませんでしたか。 はい いいえ

## 考えるヒント

## ○質問紙法の精度が悪くなる場合…

「回答者が回答に煩わしさを感じる」、「どう回答してよいか迷ってしまう」、「質問の仕方が回答を誘導している」など。

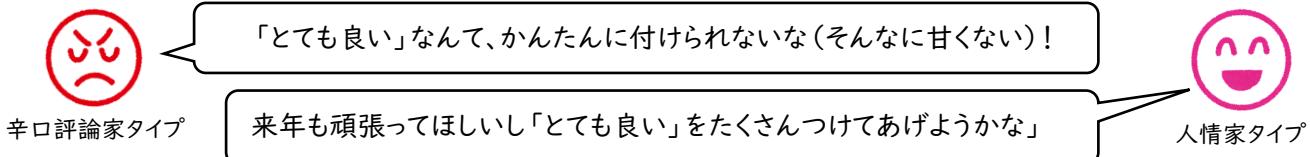
## ○回答の尺度の例は…

五段階 「とても」「わりと」「どちらともいえない」「あまり」「ほとんど」 … 肯定2・中立1・否定2の尺度で回答

四段階 「とても」「わりと」「あまり」「ほとんど」 … 肯定2・否定2の尺度で回答。

質問の内容によって、中立的な回答を設けた方がよいかを判断します。

※注意1…「とても」「わりと」の捉え方は回答者によって異なる。



10人に調査して、辛口評論家タイプが7人いた。(しかも16歳以上はみんな辛口だった…)

→対象数を広げて200人になると、辛口評論家タイプは36人であった。

→調査数を増やすことで、捉え方による影響を小さくすることができます。

※注意2…対象者は任意(無作為)に選ぶ。

自分を良く知っている人を回答者に集めると、協力的な回答になってしまいます。

これ、○班の調査だ。

△△って答えよう

理解者を多く含む集団はNG